

# 空き家を資源にするために 活用方法を考える

空き家のことは自分には関係ないと思っ  
ていても、相続や家族の事情な  
どで自分が空き家の管理者になる事  
があります。いつ自分が当事者にな  
るか分からない空き家問題。使う予  
定がなければ、賃貸や売買、解体な  
どを検討しましょう。空き家に関す  
る市の各種支援制度などを紹介しま  
す。

## 空き家情報バンクで 資産を有効活用

住宅は、人が住まなくなること  
で通風が不十分になり、痛みが進  
みややすくなります。また、使用し  
ていなくても修繕費用や税金など金  
銭的な負担が発生します。利用可能  
な空き家は住居として利用し、空  
き家にしない取り組みが必要です。  
空き家情報バンク事業は、住まな  
くなった家の売却や賃貸を希望す  
る所有者などと、空き家の購入や賃  
借を希望する人をマッチングする取  
組み。空き家を住居として有効活用  
することで、空き家問題を未然に防  
ぎ、眠っている資産を有効活用



※空き家情報バンク事業

- ① 登録を希望する空き家の所有者は、所定の登録申請書に必要書類を添えて提出します
- ② 後日、所有者立ち会いの下で、市の担当者が物件の現地確認を行います
- ③ 現地確認の結果、適切であると認められた建物については、市空き家登録台帳に物件の詳細情報を掲載します
- ④ 登録台帳は市公式ホームページやまちづくり推進部観光シテイプロモーション課窓

- 産の活用が促進されます。
- 空き家を売りたい人、貸したい人は
- 空き家を買いたい人、借りたい人は
- 空き家を売りたい人、貸したい人は
- 空き家を買いたい人、借りたい人は

- 空き家等利活用プラットフォーム事業
- 利用したい人は
- 協力事業者の紹介を希望する空き家等所有者は、市へ「空き家等所有者情報提供同意書」を提出します
- 市は、協力事業者へ空き家等所有者情報を提供します
- 協力事業者は、空き家等所有者と交渉を行い、媒介契約を締結し、空き家等の買い手（借り手）を探します
- 売買または賃貸借が成立したら、所有者は協力事業者に仲介手数料を支払います

## 理想の家を見つけることができました

県外で暮らしていましたが、自分の体調が気になる年齢になってきたこと  
もあり、生まれ故郷の登米市に戻るこ  
とを決めました。畑仕事を通して体を  
動かすことができるように、農地付き  
の物件を探していたところ空き家情報  
バンクと出会いました。候補を絞って

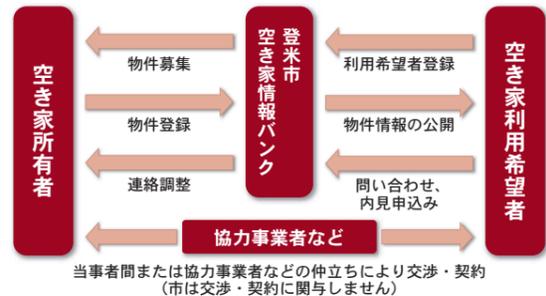
からは交渉もスムーズに進み、買いた  
い人と売りたい人などを結び付ける良  
い仕組みだと感じています。農地の  
権利移動は、申請してから許可を受け  
るまでの期間が長くやきもきました  
が、改修費用の一部に補助金を活用  
できたので助かりました。



米山町中町  
佐々木幸志さん(71)



## 空き家情報バンク利用フロー



## ■ 協力事業者（宅地建物取引業者）

空き家を資源として活用するために、協力事業者が相談に応じます。

### 【市空き家情報バンク事業協力事業者】

「公益社団法人宮城県宅地建物取引業協会」か「公益社団法人全日本不動産協会宮城県本部」のいずれかに加盟し、登米市空き家情報バンク事業実施要綱に基づき登録された宅地建物取引業者です。

※協力事業者へ交渉や契約を依頼した場合は、成約後に所定の媒介報酬を支払う必要があります

## 大切に使ってくれる人に巡り合いました

伯父の家を譲り受けて建物の所有者  
になり、定期的に立ち木の手入れや建  
物の修繕などの管理をしてきました。  
まだまだ住むことができる家なので賃  
貸を考えていたところ、空き家情報バ  
ンクのことを知りました。登録して間  
もなく借り手が見つかり、すぐに契約。

事業者の人たちは丁寧な対応で、市と  
の連携もしっかりしていたので、思い  
入れのある建物を安心して任せること  
ができました。入居者が建物を大切に  
使ってくれているのでありがたいです  
ね。息子が増えたようで、仲良く付き  
合っています。

## 空き家を大切に 活用する資産に変える

国土交通省の調査では、空  
き家を所有することになった  
原因は、住んでいる人の転居  
や死亡など誰にでも身近に起  
こることが分かります。

放っておくと、経過年数と  
ともに建物は老朽化。土地も  
どんどん荒れていきます。い  
ざ活用しようとしたときに  
は、建物が倒壊しそうになっ  
ていたり、立ち木が道路には  
み出していたりする危険な空  
き家になっていることも。利  
用予定が無ければ維持費や管  
理する労力も必要。

そんな空き家も、活用でき  
る資産に変えられます。  
建物が古いかから誰も住みた  
がらないのではないかと考え  
る一方で、地方への移住を求  
める人には理想の家になるこ  
とがあります。

空き家といえど、そこで過  
ごした思い出や愛着のある大  
切な場所。だからこそ、適切に  
管理し迷惑空き家にならない  
ようにしなければなりません。  
より安心して過ごせる地  
域へ。困ったときは市に相談  
ください。

## 【空き家を管理するための各種支援】

### ■ 空き家改修事業補助金

空き家情報バンクに登録された空き家の所有者および入居者を対象に、空き家改修などに要する費用を最大50万円助成します



※空き家改修事業補助金

### ■ 空き家に附属した農地の取得要件を緩和

通常は、取得後50㎡（5千平方メートル）以上耕作する必要があります。「空き家情報バンクに登録された空き家とそれに附属した農地」を一緒に取得する場合に限って、0.01㎡（1平方メートル）に引き下げます



※空き家バンクに登録された農地の取得要件の緩和

### ■ 空き店舗活用支援事業

市内にある空き店舗を活用し新規出店する人に対し、店舗改修費を最大50万円（経費の3分の1以内）助成します



※空き店舗活用支援事業



迫町八幡  
酒井実さん(73)